

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～

第8回（アカデミックライティング講座）

1. 実施日

令和4年9月10日（土） 8：40～15：30

2. 場所

大阪大学 豊中キャンパス

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）72名

4. 講師

大阪大学 全学教育推進機構 教授 堀一成 先生
大阪大学 全学教育推進機構 准教授 坂尻彰宏 先生
大阪大学 国際共創大学院学位プログラム推進機構 准教授 柿澤寿信先生
大阪大学 TA 4名

5. 内容

8：30 鳥羽高校集合
8：40～10：00 バス移動
10：00～10：50 第1講 批判的に考えるとは？
10：50～11：00 休憩
11：00～11：50 第2講 レポート作成のチェックポイント
11：50～13：20 休憩
13：20～14：20 第3講 パラグラフ・ライティングとは？
14：30～15：30 バス移動
15：30 鳥羽高校到着後、解散

6. 学び

論文を作成する際に必要な技能であるアカデミック・ライティングについて学習し、根拠情報の見つけ方や情報の整理方法、レポートの組み立て方などに関する手法を身につける。

7. 次回への課題

「研究報告書」Ver.2を作成する。

8. 本時の振り返り

第1講 批判的に考えるとは？

主張を整理し検証する方法と、論拠を吟味するためのチェックポイントについて学んだ。その後、調査シートをペアで相互検討し、グループの調査内容を見直した。

第2講 レポート作成のチェックポイント

アカデミックにふさわしい文章の注意点について講義を受けた。ここで学んだことを生かし、間違いがたくさん散りばめられたレポートから間違いを発見するワークを行い、間違いを共有した。

第3講 パラグラフ・ライティングとは？

トピックセンテンス、サポートセンテンス、コンクルーディングセンテンスからなるパラグラフの構造について学んだ。自分の調査シートから問いと答えを書き出し、実際にパラグラフ・ライティングを行った。

学習者は第2講でレポートの間違いを発見する活動を行った。一方で、第3講でパラグラフ・ライティングをした際は、ダメレポートにあるような間違いに気づかないまま提出する学習者が少なくなかった。執筆し、読み返して再執筆するという繰り返しの過程が必要なことは、3学期の論文執筆の活動をとおして伝えていきたい。

